



議長から市長へ提言書を渡す



提言書の内容を市長へ説明

掛川市議会政策提言

各常任委員会が1年間のテーマを定め、現地調査やリモートによる視察等を進め、議会報告会で中間報告を行うとともに皆さんの意見を伺い、検討を重ねてきました。これら、所管の常任委員会が調査研究の成果としてまとめた3つのテーマと、市内の経済状況を踏まえた緊急テーマについて、全議員で政策討論を重ね、提言書としてまとめ、令和3年3月29日に掛川市長へ提出しました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、景況感は依然として厳しい状況が続いている。

これまで、国、県及び市は様々な対策を講じてきたが、市民を守る更なる施策が求められている。早急に対策を講じなければいけないもの、このピンチをチャンスと捉え新たな生き方に合わせた移住定住策、ふくしあを中心とした掛川型地域包括ケアシステムを更に充実させるなど、市民の皆様が今以上に安全で安心した暮らしができるよう、次のとおり提言する。

新型コロナウイルス感染症から市民の皆様を守る新たなまちづくりについて

- 1 ポストコロナ社会における IT化、SDGsの推進等、新たな施策において、ターゲット、ゴールを明確に示し、市民を置き去りにしない心の通った市政運営に尽くすこと。
- 2 コロナ禍による厳しい財政難のなかにあっても、事業の中止や縮小を行うばかりでなく、市民の心を満たし、市内が活性化する政策に取り組むこと。
- 3 複合災害マニュアルを作成するとともに、災害時に活かせる、新しい生活様式を取り入れた避難策を市民に浸透させること。
- 4 コロナ禍における複合災害時での消防団の役割を考えるとともに、災害から地域を守る消防団員を確保する仕組みを構築し、市も関与すること。